



農大二中進路通信

令和5年9月1日(金)
第11号 農二進路指導部

いよいよ今日から二学期スタート!



本日から二学期がスタートします。昨日は「ああ、明日から学校かぁ」「行きたくないなぁ」と思った生徒も多数いたかもしれません。また、中には先週に模試があり、先日まで行われた夏期講座に参加したことで徐々に学校モードになり、やる気いっぱい本日学校に登校した生徒もいることでしょう。やはり、長い休みの後は大人、子供問わず何らかのストレスや、負担を感じるものです。もちろん、最初からエンジン全開で走れば良いですが、なかなかそうもいきませんので、徐々に学校生活に心と体を慣らしていってください。また、二学期は1年の中で最も長い学期となります。体育祭があったり、英語関連の行事があったりと一学期同様に行事も多数ありますので楽しんでいきましょう。

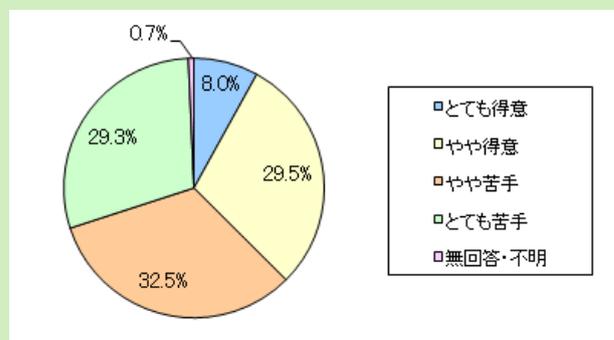
さて、話は夏休みに戻りますが、夏休みの学習はいかがだったでしょうか？夏休みが始まる前に、毎日3時間の勉強をしていこうという話をしましたが、どうだったでしょうか？一学期にせっかく作り上げてきた勉強の習慣を墮落した生活の中で壊してはいませんか？多くの生徒が規則正しい時間に起き、学校があったときと同様の規則正しい生活を維持しながら、最低3時間の勉強時間をとれました。もちろん、旅行等で勉強ができない日もあったとは思いますが、やはり習慣は大切です。勉強の習慣が壊れてしまった人は、どうか今日から心を入れ替えて勉強の習慣を再構築していってくださいね。また、課題の提出があると思いますが、期日までにしっかり出し、すっきりと2学期のスタートをきってください。

2学期からの学習について

「もっと勉強しようと思っていたのにできなかった」「夏休み中に生活リズムが乱れてしまった」などの声を聞きましたが、過ぎてしまったことを悔やんでも仕方ありません。大切なのはこれからどう過ごすかです。夏休み明けは授業で習う内容も難しくなり、行事なども増えて忙しくなる時期です。大切なことは「あわてずに」「前向きに」勉強へ向かうことです。

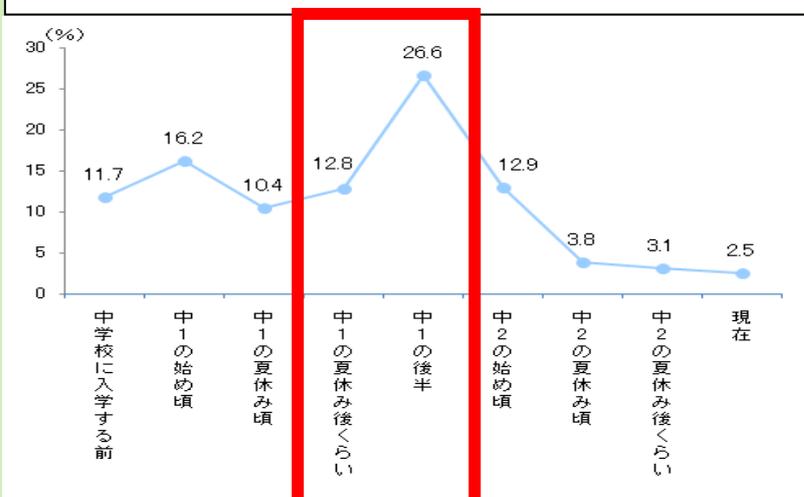
多くの生徒が勉強を苦手になってしまうのが実はこの2学期なんです。英語を例にとってみます。以下は2009(平成21)年に全国の公立中学校の2年生を対象に実施した Benesse 教育研究開発センターの調査「第1回中学校英語に関する基本調査」によるものですが、英語を得意(とても得意+やや得意)と答えた生徒は4割弱(37.5%)だったのに対し、苦手(とても苦手+やや苦手)と答えた生徒は6割(61.8%)だったそうです(図1)。そして、英語への苦手意識がいつ生まれたのかを見てみると(図2)、26.6%の子が「中1の後半」と答えていて、次いで多いのが「中1の初め頃」で16.2%。全体では「中1の後半」までに、8割弱の子どもが「英語が苦手」と感じているという結果になりました。

図1 あなたは英語が得意ですか、苦手ですか。



(引用 <https://benesse.jp/eigo/201009/20100913-1.html>)

図2 いつから英語が苦手になりましたか。



これは英語に限るものではなく、ほかの科目にも言えることだと思います。この苦手になる理由は、基礎を一学期におろそかにし、夏休みに十分に抜け漏れが解消できず、2学期にさらに難しい内容がその上に積み上げられたため、わからないが増えたことによるものと考えられます。一度苦手になったり、できなくなったも

のでできるようになったり、得意科目にするということは容易なことではありません。苦手になったり、嫌いになると授業が苦痛になります。焦る必要はありませんができるだけ早く休みボケから脱却し、毎日楽しく過ごすためにも日々の授業と家庭学習を根本に頑張ってください。さあ、今日からがんばろう！



模試のやり直しが大切

24日に駿台模試、本日の学力推移調査と模試が立て続けにありました。手ごたえはどうだったでしょう？夏休みにがんばった成果を出すことができたなら、今後の自信につながりますね。ただできなかったからといって、凹み過ぎるのはよくありません。結果を楽しみに前向きにいきましょう。ただ、みんなはその前にしておくべきことがあります。それは、模試のやり直しです。模試やり直しノートを一学期作りましたが、その意義を確認したいと思います。まず、模試ノートとは模試終了後に間違えた問題を抽出し、解き直すために使用するものです。このノートには正解できなかった問題、理解できていなかった問題だけを書き込みます。これにより、自分の弱点のみを集めたノートが作成できます。この弱点のみを集めたノートを何度も復習することにより自分の弱点克服ができます。これが模試ノートの意義の1つです。さらに模試や定期試験の前にはこのノートを見返すだけで効率よく勉強ができます。君たちが忙しいのはわかっています。効率よく勉強することは大切なことです。これが2つ目の意義です。そして、解答部分に間違えた理由や、理解していない部分の詳しい解説、つまづきやすいポイントなども書き加えることで理解が深まります。これが3つ目の意義です。駿台の模試直しをやっていない人はこれからしっかりやっていきましょう。本日の学力推移は今日から。勉強が作業になったら疲れるだけです。やっても力がつかないような方法ならやらない方がいい。やったにも関わらずできないとやる気がなくなってしまう。力をつけることを意識していきましょう。



2023年夏！農二中生躍動！

8月5日(土)に科学の甲子園ジュニアの一次予選が行われました。科学の甲子園ジュニアとはJST(科学技術振興機構)が主催するもので、理科、数学など複数分野の筆記や実技競技に協働で取り組み、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材育成を目指す中学生のための科学の大会です。本校からは、A チーム(萩原香乃さん、古川由依さん、金井大悟くん)、B チーム(橋本桜和さん、土岐悠華さん、北條真優さん)の2チームが参加しました。残念ながら B チームの予選通過は叶わなかったものの、A チームが一次予選を通過することができました。周りはほぼ2年生の中で両チームとも躍動し、大健闘しました。A チームは9月9日に行われる県大会に参加する予定です。2チームの参加生徒たち、本当にご苦労様！そして、A チームの生徒たちは県大会での活躍、期待しています！



また、8月19日(土)、20日(日)に GPA2023 ゲームプログラミングハッカソンが実施されました。これは「ぐんまプログラミングアワード(GPA)2023」の一環として、群馬県内の小中学生にゲームプログラミングを学んでもらい、作品を生み出す喜びや、魅力を伝えるイベントです。4、5人一組のグループに分けた後、2日間でオリジナルゲームのアイデアを考え、2日目の最後に作品を発表したのですが、農大二中から清水大生君が参加し、見事優勝を勝ち取りました。日頃からプログラミングを得意とし、部活動で頑張っている成果が出たのでしょう。もちろん、技術や想像力は賞賛に値しますが、一番賞賛に値するのは自分から積極的に挑戦しているところです。結果はどうあれ行動する！これは自身の成長にとって大切なことです。



優勝して記念パネルを掲げる「たいこのかいこ」(上)と、クライム賞を受賞したMS・2K



「ぐんまプログラミングアワード(GPA)2023」の一環の「ゲームプログラミングハッカソン」(上毛新聞社主催、クライム、コシダカホールディングス特別協賛)は20日、前橋市の上毛新聞社で最終日を迎えた。県内の小中学生17人が5班に分かれて2日間の成果を発表し、成長する蚕のモンスターと戦うシューティングゲームを作った清水大生さん(12)、寺岡音花さん(9)、高橋祐星さん(13)の「たいこのかいこ」が優勝を飾った。

上毛新聞社で「ハッカソン」

たいこのかいこ優勝

富岡製糸からゲーム着想

各班は群馬または「SDGs」のテーマでゲーム内容の企画を練り、限られた時間内で形にした。発表では、各班が作品の仕様や工夫した点を紹介して、実際に作ったゲームを披露。優勝した「たいこのかいこ」は、世界文化遺産の富岡製糸場から着想を得た。敵の蚕が3段階の変体で動作が変わったり、戦闘場面に独特な効果音を付たりして工夫した。審査員からは「ブレいしてみたい」と高評価の声が上がった。

清水さんと高橋さんがプログラミング、寺岡さんがキャラクターの画像や音楽を選んで分担当した。清水さんは一チームで協力すること、多くのアイデアや工

農大二中生はどんどん外に出ていってください。農二中は出る杭を打ちません。一人ひとりの「やりたい！」という思いを大事にします。外の世界を知ることで新しい価値観を手に入れることができます。人生を変える大きな出会いがあるかもしれません。そして、新たな世界を知れば知るほど、「何もない自分がどうすればできるのか」と不安に思いつつも、「チャレンジしてみたい」と思うようになってきます。自分の特性を考え、どんどんチャレンジしていきほいいと思います。世の中にはもっともっと凄いヤツがいます！Be Challengers！



NI 探究 I 本格スタート!



2学期からいよいよ NI 探究 I (高崎市の課題探究)が始まります。三年の夏まで、約2年かけてチームで協力して探究を行います。先日アンケートで探究したい分野を聞きましたが、それをもとにクラス関係なく興味関心をもとにチームを編成していきます。分野として①農業②防災安全③スポーツ④土木・建築⑤環境⑥人権⑦防犯・青少年⑧地域交通⑨社会福祉⑩教育⑪医療・健康⑫文化・観光⑬経済・産業となります。限界を決めず、楽しみながら、協力して探究を行ってください。10月末までにテーマ設定、探究計画書の作成をし、提出してもらいます。3学期に入ったら探究の計画書についてのクラス発表、そして、クラスの代表者には学年発表してもらいます。さらに全校発表会では同級生、農大の先生、また保護者など外部の方々に発表を見てもらい、いろいろとアドバイスをいただきたいと思っております。創意工夫しながら、課題解決のために頑張ってください。みんなの探究の成果楽しみにしております。

農大ニ中学校生説明会—農二中生大活躍

7月29日(土)、30日(日)に本校武揚ホールおよび中等部校舎において、「中等部オープンスクール」を実施しました。2日間午前、午後合わせて計4回オープンスクールを実施し、多くの小学校6年生とその保護者の方に来ていただきました。全体説明会においては学校説明、進路・入試説明、中等部の教育方針や教育内容、学習・進路指導についての説明、また後半には体験授業を行いました。当日は、なんといっても中等部1期生の多くの生徒がボランティアとして、司会や誘導、体験授業の補佐など率先して運営に協力してくれたことが印象的です。計約60名の生徒が参加してくれ、農二中の良さをアピールしてくれていたように思います。それぞれの生徒から笑顔があふれ、積極的に児童に話しかけサポートしている姿に感銘を受けるとともに、農二中愛にあふれる生徒たちを見ながらほほえましく思いました。本当にありがとう!



勉強はもちろん大切ですが、それと同時に大切な心はボランティア精神です。どんな小さなきっかけでも、自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切にしてほしいと思います。みんなはたんさん勉強をし、力をつけている最中です。しかし、それはなんのためかというところ社会のため、世界のため、多くの人々のために貢献できる力を培うためです。大学に入り、知識や技能を身につけ、それを他者の幸せのために活かせることがどんなに尊いことか、そして、未来のグローバルリーダーに求められる資質です。Be Global Leaders!

今後の予定

10月3日(火)~6日(金)	中間テスト
10月12日(木)	体育祭
10月18日(水)	NI ワークショップ 農大より志和地先生
11月10日(金)	総合学習ワークショップ 農大より江口先生
11月28日(火)~12月1日(金)	期末テスト

